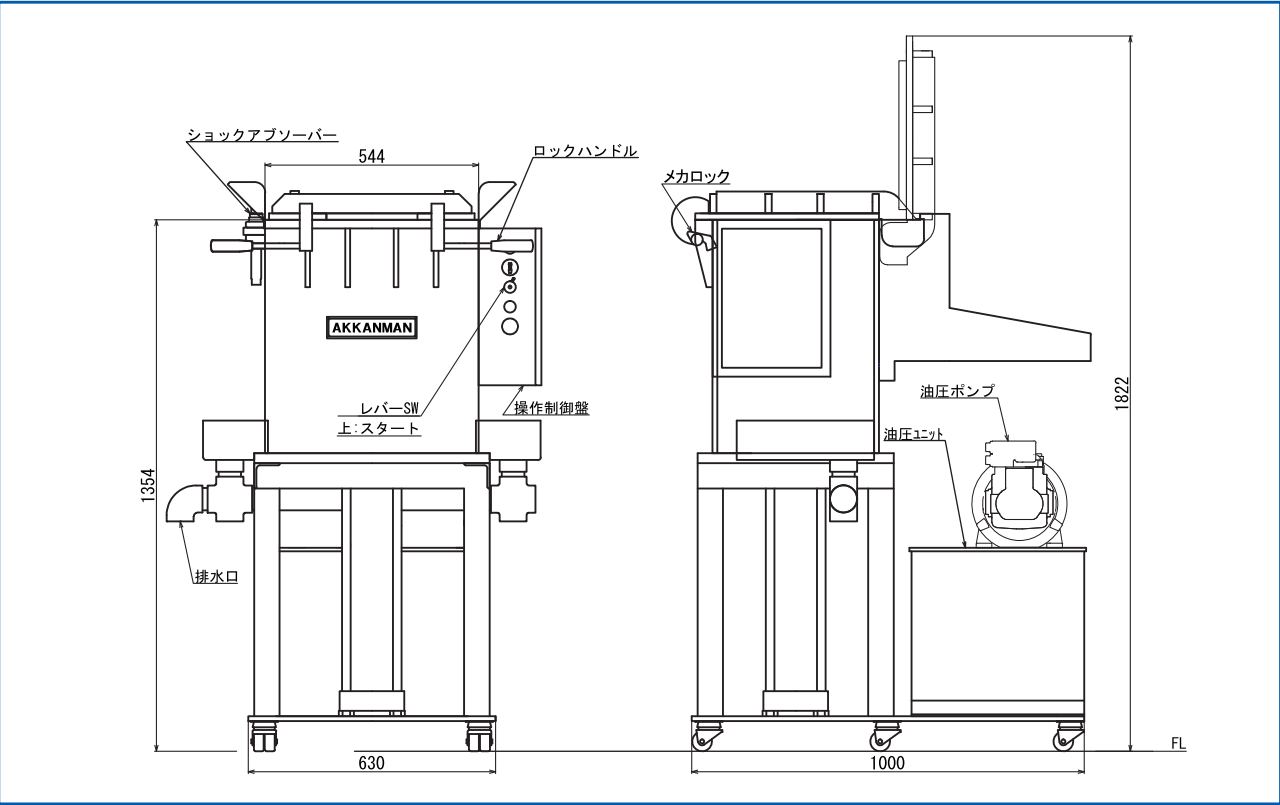


外観寸法図



仕 様

対 象 缶	中身入り容器 金属缶 (アルミ、スチール)、紙パック、空き缶
中 身	ジュース、コーラ、ビール、酒類、牛乳、外液体など
処 理 能 力	1回の投入量 (金属缶 180ml/190ヶ～500ml/70ヶ)、最大 18,000 個/h (連続投入の場合)
機械寸法(mm)	W800×D1,000×H1,400 (蓋開 1,800)
圧縮室容積(L)	60L (W425×D325×H450)
圧縮力 (Ton)	17 (17.2KN)
処 理 時 間	1 サイクル 40 秒 (50Hz)、30 秒 (60Hz)
成型寸法(mm)	W425×D325×H25～50
電 動 機	3.7Kw-4P (200V 50/60Hz)
機械重量 (Kg)	830

※このカタログの「仕様・写真」等は予告なく改良のため変更することがあります。

製造販売元

株式会社 油圧総合

[本社工場] 〒340-0834 埼玉県八潮市大曽根1242番地
TEL:048-995-6878 FAX:048-995-5355

[U R L] <http://www.akkanman.jp> [E-mail] info@akkanman.jp

中身入り 容器圧縮減容処理機

AKKANMAN®

圧缶マン

AKK-017NA

特許取得済

大量の中身入り容器を一挙に板状に



株式会社 油圧総合

大量の中身入り容器(金属、紙パック等)を一挙に投入圧縮脱液 そして容器を全工程40秒足らずで板状に！

安全簡単で、しかも能力に対して、このサイズ
もちろん空き缶にも対応！！

処理対象は、飲料缶など金属容器、紙パックなど
容器自体が不良になったものや季節によって賞味が劣化したものなどを
大量かつ一挙に投入し、短時間で処理できる。

- 設置面積が1m×1mと省スペース
- 容器内から圧縮破裂して噴出した液体や泡などが外部へ飛散しない
- 蓋の開閉と容器の投入取り出し以外は、自動運転で安全センサーを6カ所に設置
- 処理量は、1回当たり80～200個
(容器サイズによって異なります)
- 圧縮率は、10分の1～20分の1
- 誰でも立ったまま安全かつスピーディーに操作、処理



①蓋を開けて立ったまま投入



②蓋を閉めて圧縮スタートレバーを押し上げる (パトライトスイッチ点灯)



③圧縮脱液終了
(パトライト消灯)、
蓋を開け取り出す



■アルミ、スチール飲料缶の減容例

